

＜ L(3) 1 1 分割、1 2 分割 ＞

L(3)の1 1 分割、1 2 分割を求めたので報告したい。

L(3)は、L(s)ゼータのs=3のもので、次のものである。

$$L(3) = 1 - 1/3^3 + 1/5^3 - 1/7^3 + 1/9^3 - 1/11^3 + 1/13^3 - 1/15^3 + \dots = \pi^3/32 \quad \text{-----①}$$

では、まず結果を示す。以下の通りである。

■L(3) 1 1 分割

$$\begin{aligned} A1 &= 1 - 1/43^3 + 1/45^3 - 1/87^3 + 1/89^3 - 1/131^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(21\pi/44) / \cos^3(21\pi/44) \\ A2 &= 1/3^3 - 1/41^3 + 1/47^3 - 1/85^3 + 1/91^3 - 1/129^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(19\pi/44) / \cos^3(19\pi/44) \\ A3 &= 1/5^3 - 1/39^3 + 1/49^3 - 1/83^3 + 1/93^3 - 1/127^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(17\pi/44) / \cos^3(17\pi/44) \\ A4 &= 1/7^3 - 1/37^3 + 1/51^3 - 1/81^3 + 1/95^3 - 1/125^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(15\pi/44) / \cos^3(15\pi/44) \\ A5 &= 1/9^3 - 1/35^3 + 1/53^3 - 1/79^3 + 1/97^3 - 1/123^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(13\pi/44) / \cos^3(13\pi/44) \\ A6 &= 1/11^3 - 1/33^3 + 1/55^3 - 1/77^3 + 1/99^3 - 1/121^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(11\pi/44) / \cos^3(11\pi/44) \\ A7 &= 1/13^3 - 1/31^3 + 1/57^3 - 1/75^3 + 1/101^3 - 1/119^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(9\pi/44) / \cos^3(9\pi/44) \\ A8 &= 1/15^3 - 1/29^3 + 1/59^3 - 1/73^3 + 1/103^3 - 1/117^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(7\pi/44) / \cos^3(7\pi/44) \\ A9 &= 1/17^3 - 1/27^3 + 1/61^3 - 1/71^3 + 1/105^3 - 1/115^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(5\pi/44) / \cos^3(5\pi/44) \\ A10 &= 1/19^3 - 1/25^3 + 1/63^3 - 1/69^3 + 1/107^3 - 1/113^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(3\pi/44) / \cos^3(3\pi/44) \\ A11 &= 1/21^3 - 1/23^3 + 1/65^3 - 1/67^3 + 1/109^3 - 1/111^3 + \dots = (\pi/44)^3 \sin(\pi/44) / \cos^3(\pi/44) \end{aligned}$$

A1 -A2 +A3 -A4 +A5 -A6 +A7 -A8 +A9 -A10 +A11=L(3)= $\pi^3/32$ である。

A1, -A2, A3, -A4, A5, -A6, A7, -A8, A9, -A10, A11 がL(3)の1 1 分身である。

念のため、上記式全てに対し Excel マクロで数値検証したが、左辺値と右辺値は一致した。

■L(3) 1 2 分割

$$\begin{aligned} B1 &= 1 - 1/47^3 + 1/49^3 - 1/95^3 + 1/97^3 - 1/143^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(23\pi/48) / \cos^3(23\pi/48) \\ B2 &= 1/3^3 - 1/45^3 + 1/51^3 - 1/93^3 + 1/99^3 - 1/141^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(21\pi/48) / \cos^3(21\pi/48) \\ B3 &= 1/5^3 - 1/43^3 + 1/53^3 - 1/91^3 + 1/101^3 - 1/139^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(19\pi/48) / \cos^3(19\pi/48) \\ B4 &= 1/7^3 - 1/41^3 + 1/55^3 - 1/89^3 + 1/103^3 - 1/137^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(17\pi/48) / \cos^3(17\pi/48) \\ B5 &= 1/9^3 - 1/39^3 + 1/57^3 - 1/87^3 + 1/105^3 - 1/135^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(15\pi/48) / \cos^3(15\pi/48) \\ B6 &= 1/11^3 - 1/37^3 + 1/59^3 - 1/85^3 + 1/107^3 - 1/133^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(13\pi/48) / \cos^3(13\pi/48) \\ B7 &= 1/13^3 - 1/35^3 + 1/61^3 - 1/83^3 + 1/109^3 - 1/131^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(11\pi/48) / \cos^3(11\pi/48) \\ B8 &= 1/15^3 - 1/33^3 + 1/63^3 - 1/81^3 + 1/111^3 - 1/129^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(9\pi/48) / \cos^3(9\pi/48) \\ B9 &= 1/17^3 - 1/31^3 + 1/65^3 - 1/79^3 + 1/113^3 - 1/127^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(7\pi/48) / \cos^3(7\pi/48) \\ B10 &= 1/19^3 - 1/29^3 + 1/67^3 - 1/77^3 + 1/115^3 - 1/125^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(5\pi/48) / \cos^3(5\pi/48) \\ B11 &= 1/21^3 - 1/27^3 + 1/69^3 - 1/75^3 + 1/117^3 - 1/123^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(3\pi/48) / \cos^3(3\pi/48) \\ B12 &= 1/23^3 - 1/25^3 + 1/71^3 - 1/73^3 + 1/119^3 - 1/121^3 + \dots = (\pi/48)^3 \sin(\pi/48) / \cos^3(\pi/48) \end{aligned}$$

B1 -B2 +B3 -B4 +B5 -B6 +B7 -B8 +B9 -B10 +B11 -B12=L(3) = $\pi^3/32$ である。

B1, -B2, B3, -B4, B5, -B6, B7, -B8, B9, -B10, B11, -B12 が L(3) の 1 2 分身である。

上記式全てに対し Excel マクロで数値検証したが、左辺値と右辺値は一致した。

=====

=====

上の分割級数(分身)の導出過程を簡単に述べる。出発点は次のタンジェント部分分数展開式である。

$$1/(1^2-x^2) + 1/(3^2-x^2) + 1/(5^2-x^2) + \dots = (\pi/(4x)) \tan(\pi x/2)$$

これを2回微分して得られる次式を使う。

$$1/(1^2-x^2)^3 + 1/(3^2-x^2)^3 + 1/(5^2-x^2)^3 + \dots = (\pi^3/64) (1/x^3) \sin(\pi x/2)/\cos^3(\pi x/2) + \text{Others}(x) \text{ ---②}$$

ここで右辺の Others(x) は L(3) に関係しない関数なので(じつはと(2)と L(1)に関係)、“Others(x)” とした。ここで Others(x) は次の通り。

$$\text{Others}(x) = -(3\pi^2/64) (1/x^4)/\cos^2(\pi x/2) + (3\pi/32) (1/x^5) \tan(\pi x/2)$$

注記: Others(x) のはじめの π^2 の項がと(2)に関係し、二つ目の π の項が L(1) に関係している。

上記②の x に特定の値を代入することで、L(3) の分割級数(分身)が次々に求まっていく。以下の通り。

②の x に $\{22-(2n-1)\}/22$ を代入すると、An が得られる。ここで、n は 1 から 11 の整数。

例えば n=3 として②の x に $17/22$ を代入すると、A3 が得られる。

②の x に $\{24-(2n-1)\}/24$ を代入すると、Bn が得られる。ここで、n は 1 から 12 の整数。

例えば n=3 として②の x に $19/24$ を代入すると、B3 が得られる。

(注記) ②の左辺級数から L(1) とと(2)の分割級数(分身)が出るが、それは興味がないので無視する。右辺からも左辺の L(1) とと(2)の分割級数に対応した値が Others(x) から出るが、それも無視する。興味がないものは、Others(x) に押し込んで無視するのである。この方法を使うことで計算量を劇的に減らすことができ、割合簡単に L(3) の分割級数(分身)を求めることができる。

=====

このように L(3) の 1 1 分身、1 2 分身が求まった。

この L(3) 1 1 分身、1 2 分身は、L(1) 1 1 分身、1 2 分身とその形が全く同じであることに注目いただきたい。⇒L(1) 1 1 分身は [\(その107\)](#)、L(1) 1 2 分身は [\(その22\)](#) を参照。

L(3) 1 1 分身の A6 は、じつは L(3) そのものになっていることを指摘しておく。面白いことであるが、これは L(1) での類似でもある。

L(1)での(その107)、(その22)の考察は、類似でL(3)でもそのまま当てはまることを指摘しておきたい。L(1)からL(3)に移っても全く秩序が壊れないという、ゼータの保存性のよさを味わっていただきたい。

2019.10.19 杉岡幹生